



ダナンマル家の南インド古典音楽

遠い記憶、 呼びさます声



Voices of Distant Memories South Indian Classical Music of the Vina Dhanammal Lineage

2012年10月14日(日) 13:30~16:00 (開場13:00) 参加無料
場所=国立民族学博物館 講堂 定員=450名 要事前申込 [9/27(木)必着]

遠い記憶、呼びさます声

ダナンマル家の南インド古典音楽



T・プリンダ

インド古典音楽は南北の2系統にわかれており、これまで日本には北インドの器楽演奏が主に紹介されてきました。今回の公演では、南インドの古典音楽をトップクラスの演奏でお楽しみいただきます。

20世紀はじめにヴィーナ・ダナンマル(1867-1938)という名演奏家が現れ、芸術の女神サラスワティの化身とまで言われました。彼女の独特のスタイルは、孫であるT・プリンダ(1912-96)らを通して、現代に引き継がれています。ダナンマルの音楽が、伝統を受け継ぐ当代の名手たちによって蘇ります。

プロフィール

声楽 vocal

■ B・バーラスブラマニヤン | B. Balasubrahmaniyan

ダナンマル家の音楽を、T・プリンダらに師事して学ぶ。マドラス大学で博士号(音楽学)も取得し、米国のウェスリヤン大学で教鞭をとりながら活発な公演活動をおこなっている。

■ T・ギリッシュ | T. Girish

ダナンマル家の若手声楽家。幼少時より、祖母T・プリンダに師事し音楽を学んだ。即興演奏や舞踊曲から古典音楽に取り入れられた演目を得意とする。

ヴァイオリン violin

■ ナーガイ・ムラリダーラン | Nagai Muralidharan

ムリダンガム [両面太鼓] mridangam

■ A・S・ランガナーダン | A. S. Ranganathan

司会・解説

■ 寺田吉孝 [国立民族学博物館 教授]



申込方法

往復はがきに①氏名 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数(本人を含め4名まで) ⑥「国立民族学博物館友の会」会員番号(会員の方のみ)を明記の上、「10月14日研究公演」と書いて下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。なお、参加申込された方の個人情報は、当研究公演にのみ使用いたします。

宛先 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

申込締切 2012年9月27日(木) 必着

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 大阪府吹田市 千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係		ご自分の住所・氏名	①氏名 ②住所 ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数 ⑥会員番号※ (会員のみ) 10月14日研究公演

※消しゴムで消えるボールペンや鉛筆のご使用はお控えください。
※「国立民族学博物館友の会」維持会員および正会員の方は優遇枠がございます。

交通のご案内

国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

*研究公演に参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示くだされば自然文化園を無料で通行できます。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス

[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

[阪急バス] (万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

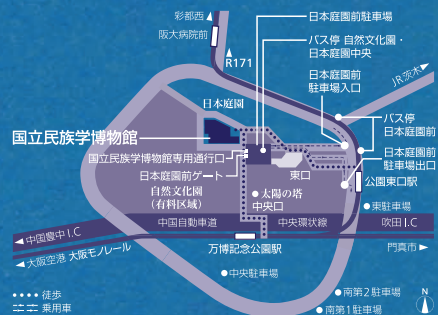
●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●乗用車

駐車場が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄りの「日本庭園前駐車場」から約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。



国立民族学博物館

お問い合わせ
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6878-8210
(土日祝を除く9:00~17:00)
<http://www.minpaku.ac.jp/>

